教科名	地歴	科目	日本史選択(進学)	週授業時間	4

1. 教科書および副教材・参考書

教科書　:『詳説日本史探究』(山川出版社)

図説　　:『詳説　日本史図録』(山川出版社)

2. 授業の目標および内容

日本史選択の授業においては、高校 2 年生までに学習した内容を踏まえつつ、近世史を中心に学習を進めていきます。日本大学への進学を見据えた基礎的・基本的な事項は勿論ですが、大学入学後に求められる「思考力・判断力・表現力」を養うことを目的としています。また、2 学期以降は近現代史も扱い、現代社会に生きる人間としての教養を身に着けることを目指します。

3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次　5 月	二次　7 月	一次　10 月	二次　12 月	なし
学力試験	第 1 回　6 月		第 2 回　9 月		なし

内容・難易度について

①定期試験：100 点満点で出題します。範囲はその都度指示します。学んだ内容に関連する初見の史料問題や記述・論述問題なども出題し、学習内容の習熟度を確認します。

②学力試験：選択・演習の範囲それぞれ 50 点分出題します。マーク式の解答となります。

4. 課題・補習について

必要に応じて適宜出題します。

5. 評価の観点

一次テスト、二次テストの点数をもとに、授業態度や提出物等を勘案して評価します。

年間授業計画

学期	単元	学習内容	備考
1	第 10 章　幕藩体制の動揺	幕政の改革 宝暦・天明期の文化 幕府の衰退と近代化への道 化政文化	常に幕府の課題となり続けた飢饉やそれに関連する財政問題などに対しどう向き合ったのか時代や為政者ごとの政治の特徴や社会の変化を中心に学習する。
2	第 11 章　近世から近代へ 第 12 章　近代国家の成立 第 13 章　近代国家の展開 第 14 章　近代の産業と生活 第 15 章　恐慌と第二次世界大戦	開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 日清日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	明治政府の近代国家政策がどのように展開されていったのかを、諸外国とのつながり強く意識しながら学習する。 また、日清・日露戦争などを通じて植民地政策とそれに付随して展開されていく日本の軍国主義化の過程を学習します。